

**トピックス**

**技術・技能の伝承（社員教育）**

**(株)三井ハイテック**

三井ハイテック研修センターは、1988年に設立され、新入社員は元より、社員の教育実践の場として技術・技能の伝承に力を注いでいます。

**<研修センター外観>**



設立以来 3,000 名に及ぶ研修生を受け入れており、性別・職種（事務系／技術系）を問わず、新入社員は全員がここで「ものづくり」の基本を徹底的に学ぶことにより、同期との絆も自然と深まっています。また、「ものづくりの原点を学ぶ」の精神に基づき、役員を始め全社員が新入社員と同じプログラムに果敢に挑戦しております。

**<研修風景>**

**<手の豆を潰しながら頑張るやすり研磨作業>**



### <研削作業>



また、設立当初より海外グループ会社からの研修生も積極的に受け入れており当社グループの技術強化に大いに貢献をしております。海外研修生は日本語研修に始まり、研修センターで「ものづくり」の基本を学んだ後、各専門部署に分かれ、計1年間の研修に取り組みます。

### <海外研修の様子>

#### <開講式で緊張感漲る海外研修生>



#### <各部門の社員との交流も深まる>



1年間の研修を終えるころには、日本語も上達し各部門の社員とも十分打ち解け、海外工場に戻る際は、管理者としての期待に十分応えてくれる頼もしい存在になることを予感させてくれます。今年度も9月4日(火)に第12回目の海外研修がスタート致します。研修生は中国、シンガポール、台湾から総勢5名が母国を離れて1年間の研修に取り組みますが、ホームシックや日本の冬の寒さにも負けずに元気にそして逞しくなって来年帰国するのが今から楽しみです。

最後に現在 5 名の講師は年間を通じて、様々な研修に大忙しです。専門分野において優れた技能を持った先輩たちが、愛情をこめて時には厳しく後進の指導に当たっております。これからも研修センターを要として「ものづくり」の伝承に邁進致します。